

平成29年度 展示圃試験結果

試験目的：慣行の元肥・追肥体系とダイヤロング222の元肥一発栽培の比較試験

試験概要

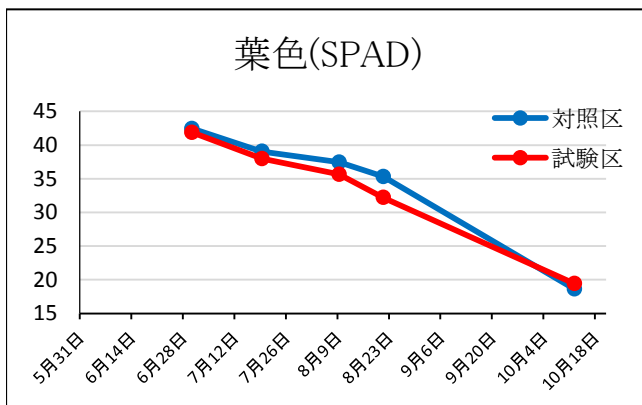
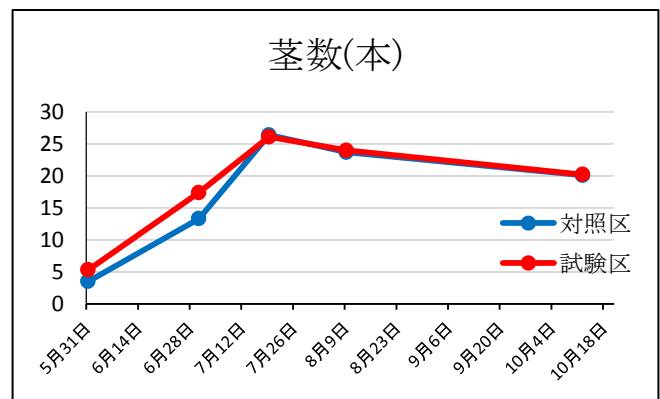
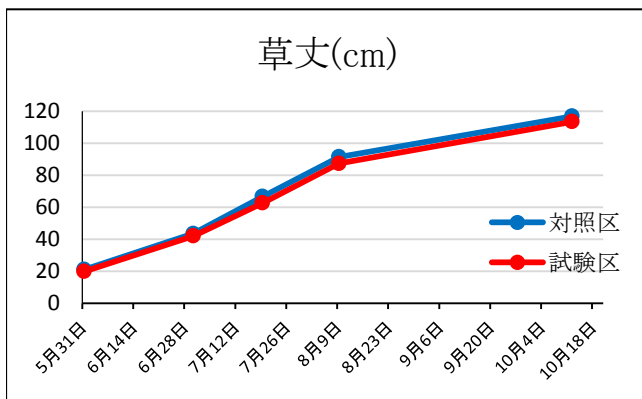
試験場所住所	岩手県花巻市
対象作物	水稻(ひとめぼれ)
使用面積	各30a程度
移植日	5月27日
植付株数/坪	60株/坪

施肥体系

	施肥日	資材名	成分 (N-P-K-Mg)	施肥量 (kg/10a)	成分量(kg/10a)			
					N	P	K	Mg
対照区	元肥	ハイグリーン	Mg14	30	-	-	-	4.2
		5月27日 他社化成肥料	12-15-15	40	4.8	6.0	6.0	-
	追肥	6月28日 硫安	N21	10	2.1	-	-	-
	合計				6.9	6.0	6.0	4.2
試験区	元肥	ハイグリーン	Mg14	30	-	-	-	4.2
		5月27日 ダイヤロング222	12-12-12	50	6.0	6.0	6.0	-
	合計				6.0	6.0	6.0	4.2

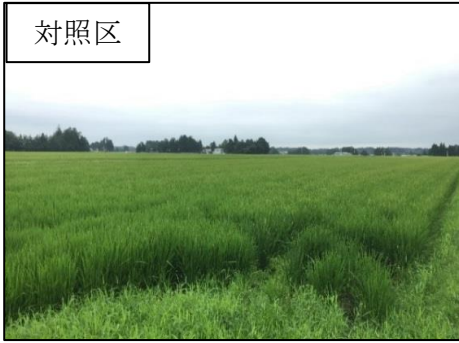
ダイヤロング222…緩効性窒素(グアニルウレア)入り一発肥料。
他社化成肥料…高度化成肥料。

中間生育の推移

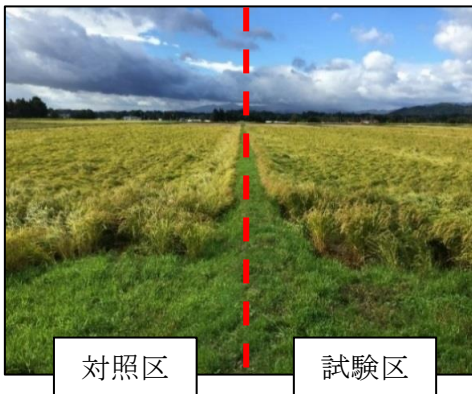


- ・草丈は生育期間を通してほぼ同様に推移した。
- ・初期の茎数は試験区が多く推移した。坪刈り時の茎数(穂数)はほぼ同等となった。
- ・葉色は対照区の硫安追肥後(6/28)はやや対照区で高く推移した。坪刈り時の葉色はほぼ同等となった。

中間生育(8/21)



○育苗時の播き直しの影響もあり出穂は遅く、8/21時点で走り穂がでてきている状況であった。
 収量調査(10./12)



60株を刈り取った写真は、
 試験区の株の方が
 ボリュームがある印象。

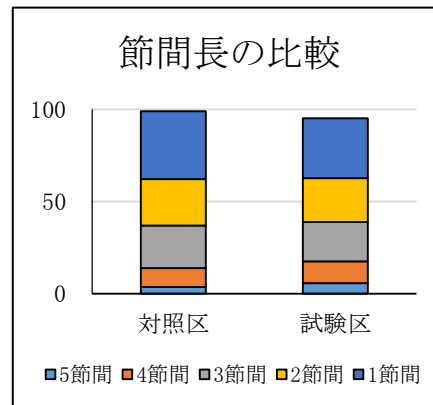
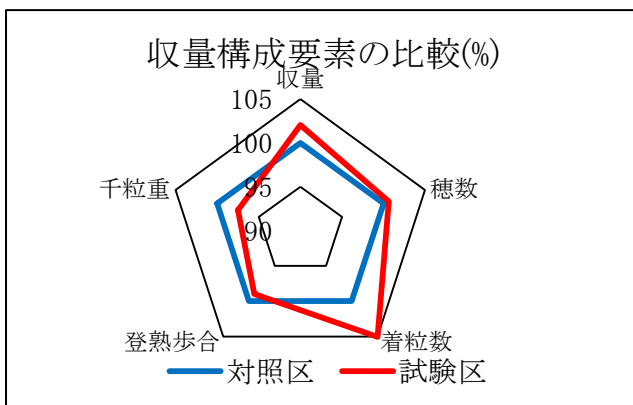
◇収量構成要素

調査項目	1株当り 穂数	㎡当り 株数	収量構成要素				10a当り 玄米重	収量比
			㎡当り 穂数	1穂平均 着粒数	登熟 歩合	精玄米 千粒重		
区別	本	株	本	粒	%	g	kg	
対照区	20.1	19.0	382	78.7	86.6	23.1	604	100
試験区	20.2	19.0	385	82.7	85.7	22.6	616	102

※㎡当りの着粒数…対照区:30,105粒 試験区:31,829粒
 ダイヤリングを施用した試験区では、対照区と比較し12kg/10a(2%)収量が高かった。

◇成熟期調査

調査項目	成熟期				節間長(cm)				
	稈長(cm)	穂長(cm)	枝梗数	生葉数	第5	第4	第3	第2	第1
対照区	99.8	20.3	11.0	2.3	3.5	10.4	23.0	25.4	36.8
試験区	95.1	19.4	9.3	2.4	5.8	11.8	21.4	23.8	32.5



◇品質調査

	整粒率	未熟粒率	被害粒率	死米+着色率
対照区	64.4	32.8	0.6	2.3
試験区	66.8	30.5	0.5	2.3

※品質調査は静岡製機 穀粒判別機 Virgo ES-1000にて分析。

◇食味分析

	水分	タンパク質	アミロース	脂肪酸度	スコア
対照区	15.5	6.7	18.3	24	68
試験区	15.5	6.5	18.3	22	70

※食味分析は静岡製機 PS-500にて分析。

◇試験結果まとめ

- ◇坪刈り調査の結果、ダイヤロングを施用した試験区は、対照区と比較し12kg/10a(2%)収量が高かった。収量構成要素を比較すると、試験区は対照区と比較して1穂着粒数が多く、m²当りの着粒数が増加した結果、12kg/10a収量が高かった。試験区では1穂着粒数の増加、節間長(4、5節)の比較、登熟歩合の結果から、粒数が決定する幼穂形成期以降から肥料がしっかりと効き、登熟期まで維持されていたと考えられる。ダイヤロングに含まれる緩効性の窒素成分であるグアニルウレア(Gu)が登熟期まで安定した肥効を示した結果、増収したと考えられる。
- ◇食味分析では試験区のタンパク質含量が0.2%低く、食味値は2ポイント高かった。
- ◇追肥労力の削減に加え、食味値が高い結果となったことからダイヤロングの施用は、ひとめぼれの栽培に有用である。

ひとめぼれ栽培に

ダイヤロング222

窒素 リン酸 加里
12-12-12

ダイヤロング222の特長

- ◇ダイヤロング222は、緩効性窒素成分であるグアニルウレア (Gu) を含有した、水稻元肥一発肥料です。
- ◇緩効性窒素成分であるグアニルウレア (Gu) は中期から後期にかけて安定した肥効を示す為、極端な肥切れが少なく増収・品質の向上に貢献します。
- ◇ノンコーティングの為、圃場に殻が残りません。
- ◇全層施肥、側条施肥のどちらにもご使用いただけます。

平成29年度 (2017) 試験

- ◇試験場所:岩手県花巻市 ◇定植日:5月27日
- ◇品種:ひとめぼれ ◇収量調査日:10月12日

対照区…元肥: 他社化成肥料 (12-15-15) + 追肥: 硫安

試験区…元肥: ダイヤロング222 (12-12-12)

調査項目	収量構成要素				10a当り 玄米重
	m ² 当り 穂数	1穂平均 着粒数	登熟 歩合	精玄米 千粒重	
区別	本	粒	%	g	kg
対照区	382	78.7	86.6	23.1	604
試験区	385	82.7	85.7	22.6	616

増収



左:対照区 右:試験区

ダイヤロングの施用で
追肥の省力化+増収!